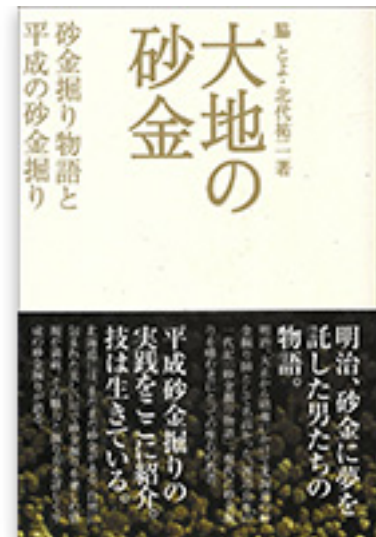


私の本棚

「大地の砂金 砂金掘り物語と平成の砂金掘り」

著者 脇とよ／著 北代祐二／著
出版社名 中西出版 (ISBN: 4-89115-139-0)
発行年月 2005年05月
サイズ 277P 函版16P
価格 1,890円(税込)

「大地の砂金」は、「砂金掘り物語」(脇とよ著)と「平成の砂金掘り」(北代祐二著)の2部で構成されている。前半物語は、北海道で明治、大正、昭和にかけて砂金掘り師として名高かった山形県三泉村の貧しい小作人出身の渡辺良作が、妖しく光る山吹色の金の砂の魅力に取り憑かれ、雨宮敬次郎氏の砂金探険団の団員として体験した当時のできごとをおもにし、砂金掘りになるまでの彼の少年時代のことを綴ったものです。



土地名、人名、採取用具、採取法、北海道アイヌのこと、食用植物のことなど冒険小説の様です。

後半では平成の砂金掘り師で知られる北代氏が、砂金掘りの楽しみ方を親切に解説している。砂金掘りに関心のある方々にとっての座右の教書。北海道には、まだまだ砂金がある。自然に包まれた美しい川で砂金掘りを楽しむ情報が満載。